

みずほCustomer Desk Report 2024/07/30号 (As of 2024/07/29)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	153.75 AUD/USD
TKY 9:00AM	154.15	1.0853	167.34	1.2867	0.6553
SYD-NY High	154.35	1.0870	167.52	1.2887	0.6568
SYD-NY Low	153.04	1.0803	166.25	1.2807	0.6524
NY 5:00 PM	154.02	1.0821	166.66	1.2860	0.6549
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,539.93	▲ 49.41	日本2年債	0.3900%	0.0000%
NASDAQ	17,370.20	12.32	日本10年債	1.0200%	▲0.0400%
S&P	5,463.54	4.44	米国2年債	4.4008%	0.0156%
日経平均	38,468.63	801.22	米国5年債	4.0723%	▲0.0035%
TOPIX	2,759.67	60.13	米国10年債	4.1715%	▲0.0214%
シカゴ日経先物	38,390.00	100.00	独10年債	2.3590%	▲0.0430%
ロンドンFT	8,292.35	6.64	英10年債	4.0480%	▲0.0490%
DAX	18,320.67	▲ 96.88	豪10年債	4.2680%	▲0.0320%
ハンセン指数	17,238.34	217.03	USDJPY 1M Vol	10.73%	0.36%
上海総合	2,891.85	0.95	USDJPY 3M Vol	9.72%	0.12%
NY金	2,377.80	▲ 3.20	USDJPY 6M Vol	9.68%	0.08%
WTI	75.81	▲ 1.35	USDJPY 1M 25RR	▲1.61%	Yen Call Over
CRB指数	274.94	▲ 2.46	EURJPY 3M Vol	9.21%	0.04%
ドルインデックス	104.56	0.25	EURJPY 6M Vol	9.21%	0.04%

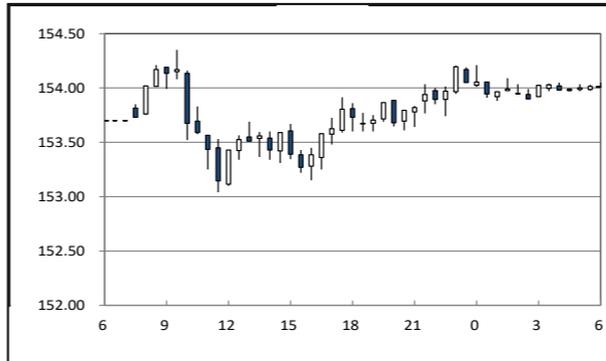
【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想	
7月29日	21:30	米	ダラス連銀製造業活動	7月	-17.5	-14.2

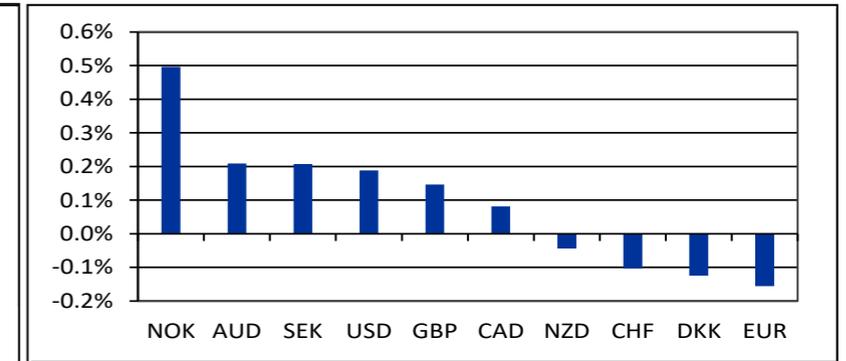
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回	
7月30日	08:30	日	失業率	6月	2.6%	2.6%
7月30日	17:00	独	GDP(前期比)・速報	2Q	0.1%	0.2%
7月30日	18:00	欧	GDP(前期比/前年比)	2Q A	0.2%/0.5%	0.3%/0.4%
7月30日	21:00	独	CPI(前年比/前月比)・速報	7月	2.2%/0.3%	2.2%/0.1%
7月30日	23:00	米	コンファレンスボード消費者信頼感	7月	99.7	100.4
7月30日	23:00	米	JOLT求人	6月	8000k	8140k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.50-152.75	1.0870-1.0700	165.00-167.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は売り買い交錯。東京時間154.15レベルでオープンしたドル円は実需の売りが先行し一時153.04まで下落。その後は材料少ない中、米短期金利が上昇するのに合わせて反発し、154円台を回復。米金利の低下が上値を抑え、154.02レベルでクローズ。
 本日は中銀イベントを前に揉み合う展開を予想する。31日に結果が公表される日銀政策決定会合については、海外勢は利上げを見込むものの、本邦勢は利上げはまだとする見方が優勢とも言われる中で、今会合で利上げが実施されない場合でも日銀の利上げへの距離感、及び利上げ幅、展望レポート、そして国債購入の縮小に関する詳細が焦点となる。重要イベントを前に一方的な展開にはなりにくいと思われるものの、様子見ムードが広がる中値幅を伴う動きが出てくることに警戒したい。

東京	東京時間のドル円は154.15レベルでオープン。仲値にかけてドル売り優勢の展開となり、仲値通過後には一時153.04まで下落。一服後は堅調な日本株の推移を横目に153円台半ばまで反発。その後は動意に欠ける展開が続き、結局153.27レベルで欧州市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、153.27レベルでオープン。特段の材料がない中、方向感なく推移し、結局153.88レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	東京時間のドル円は月末FOMに絡んだ売りが先行し、153.04まで下落。しかし、その後は米短期金利が上昇する展開を横目に反発し、153.88レベルでNYオープン。本日は材料難の中、米金利が一段と上昇幅を拡大する動きに追随し、154.21まで上昇する。しかしその後は伸び悩み、154円台を割り込んだ。午後は米財務省が第3四半期の借り入れ必要額見通しを従来の8470億ドルから7400億ドルに引き下げた事を受け、米金利の低下が上値を抑え、154円ちょうど付近を中心とした推移が続き、154.02レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。欧州株安や、独金利の低下が重しとなり、じり安での推移が続き、1.0818レベルでNYオープン。午前中は1.0803まで値を下げる場面もあったが、その後は下げ渋り、1.0810付近まで戻す。午後は1.0820付近で動意乏しい推移が続き、1.0821レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。